

部門システム委員会 活動報告

2020年2月17日
部門システム委員会
委員長 金子 正和

© JAHIS 2020

Agenda

- 今年度の事業計画
- 部門システム委員会報告
 - ・教育事業対応（JAHIS事業・冊子）
 - ・情報リスト化・類型化
- 専門委員会、WG報告
 - ・病棟業務支援システム専門委員会
 - ・物流システム専門委員会
 - ・リハビリ計画書検討WG
- 来年度の事業計画

(1) 部門システムに係る課題の洗い出しと解決、そのための標準化の推進

- ①教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動
- ②部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決

(2) 病棟看護業務の効率化、関連システム連携の標準化模索

- ①MEDIS-DC看護実践用語標準マスタ普及促進
- ②病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索

(3) 物流業務の効率化、標準化の推進

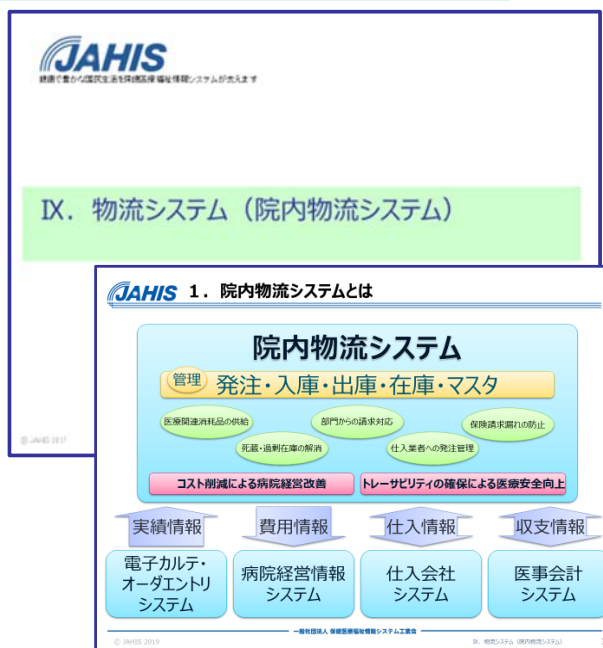
- ①「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及推進
- ②「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改版に向けた情報収集と方針策定
- ③医療用資材(医薬品・医療材料など)の院内物流のICT適用モデルの考察
- ④院内物流の実態調査・現場情報のヒヤリングなどを通じ新たな標準化課題の模索

(4) リハビリなど医療側からの介護連携に関連する標準化模索

- ①リハビリ計画書連携の電子化検討の推進

教育事業対応 (JAHIS事業・冊子)

各部門システムと電子カルテシステムとの連携を中心に、データやモノの連携・流れをまとめ、教育事業の教材に反映し入門コース(2回)で講義を行った。

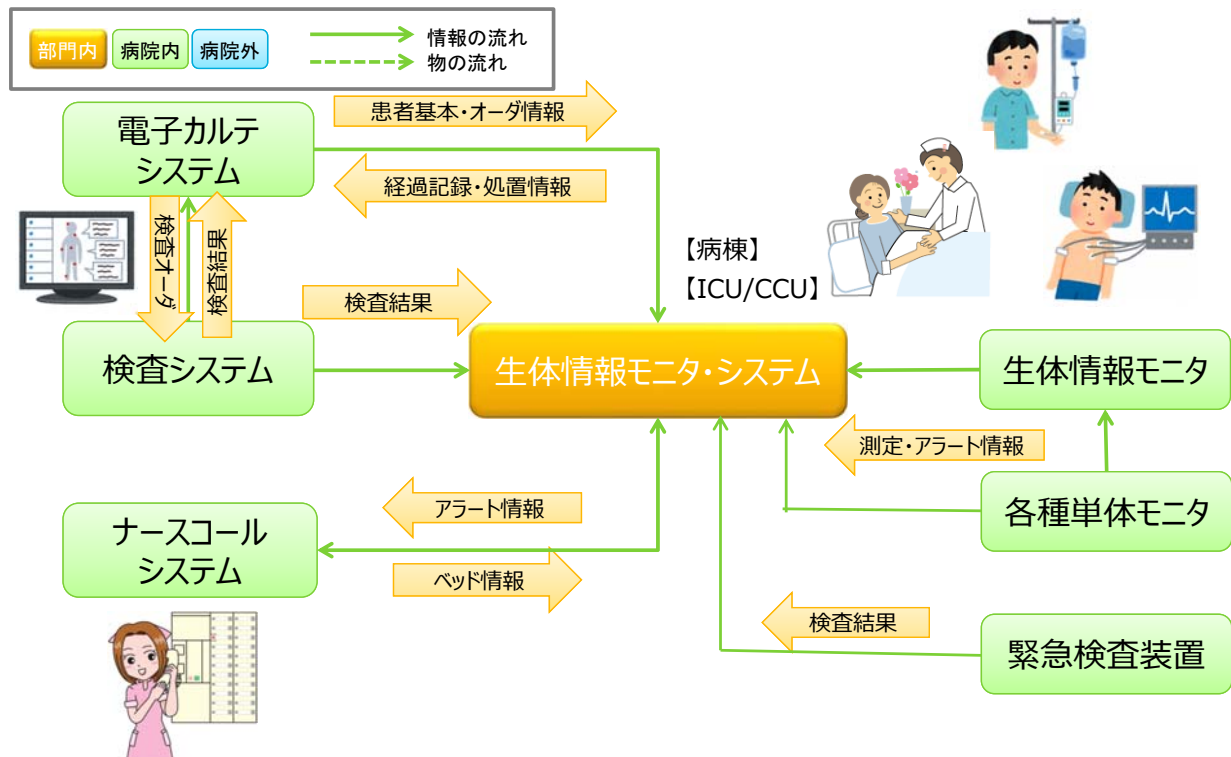


部門システムの情報リスト作成

各部門システムがよりどころとしている標準や規約について、情報の入手先がバラバラで初心者がアクセスするのが困難であるとの意見が出てきたため、情報リストを作成した。

No	分類	規約名	リンク先 関連団体
1	JAHIS	JAHIS標準	http://www.medis.or.jp/4_hyojyun/medis-master/index.html 一般社団法人 保険医療福祉情報システム工業会 (JAHIS)
		1)健康診断結果報告書規格Ver.2.0	https://www.jahis.jp/standard/detail/id=659
		2)JAHISヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.2.0	https://www.jahis.jp/standard/detail/id=657
		3)JAHIS内視鏡DICOM画像データ規約Ver.2.0	https://www.jahis.jp/standard/detail/id=658
		4)JAHISシングルサインオンにおけるセキュリティガイドラインVer.2.0	https://www.jahis.jp/standard/detail/id=643
		5)JAHIS病名情報データ交換規約Ver.3.1C	https://www.jahis.jp/standard/detail/id=631
		6)JAHIS病理・臨床細胞DICOM画像データ規約Ver.3.0	https://www.jahis.jp/standard/detail/id=658
		7)JAHIS HPKI対応ICカードガイドラインVer.3.0	https://www.jahis.jp/standard/detail/id=609
		8)JAHIS注射データ交換規約Ver.2.1C	https://www.jahis.jp/standard/detail/id=590
		9)JAHIS保存が義務付けられた診療録等の電子保存ガイドラインVer.3.3	https://www.jahis.jp/standard/detail/id=581
		10)JAHIS地域医療連携における経過記録構造化記述規約Ver.1.0	https://www.jahis.jp/standard/detail/id=568
2	MEDIS	MEDIS標準マスター	http://www.medis.or.jp/4_hyojyun/medis-master/index.html 一般社団法人 医療情報システム開発センター (MEDIS-DC)
		1)医薬品HOTコードマスター	http://www2.medis.or.jp/master/hcode/
		2)病名マスター (ICD10対応標準病名マスター)	http://www2.medis.or.jp/stdcd/byomei/index.html
		3)歯科病名マスター	http://www2.medis.or.jp/master/sika/byomei/
		4)標準歯式コード仕様	http://www2.medis.or.jp/master/sika/shishiki/index.html
		5)臨床検査マスター (生理機能検査を含む)	http://www2.medis.or.jp/master/sika/shishiki/index.html
		6)手術・処置マスター	http://www2.medis.or.jp/stdcd/shujutu/index.html
		7)歯科手術・処置マスター	http://www2.medis.or.jp/master/sika/shochi/
		8)看護実践用語標準マスター (看護行為編)	http://www2.medis.or.jp/master/kango/koui/
		9)看護実践用語標準マスター (看護観察編)	http://www2.medis.or.jp/master/kango/kansatsu/

部門システムの類型化 <生体情報モニタ・システム 概要>



部門システムの類型化

<生体情報モニタ・システム 説明>

主な機能	・一般病棟や、集中治療室(ICU)等の重症病棟で生体情報の常時可視化・監視・客観的な情報提供を行う ・熱計表や温度板、経過表などの作成支援を行う		
連携する主なシステムと役割	生体情報モニタ 各種単体モニタ	取得	各種バイタルサイン(測定値、波形)、アラート情報等
	緊急検査装置	取得	血液ガス、電解質等の検査結果
	電子カルテシステム	取得	患者基本情報・オーダ依頼情報
		提供	経過記録・処置情報等
	検査システム	取得	中央検査部等での検査結果
	ナースコールシステム	提供	アラート情報

部門システムの類型化

一言に部門システムといっても多種多様なものがあり、対象とする範囲があいまいであるため、部門システムについて類型化作業を開始した。

類別名称	中分類名	一般的名称	一般的名称定義	クラス分類	旧一般的名称	旧クラス分類	旧修理種別	改正回数	最終更新日
内臓機能検査器具	生体現象監視用機器	患者モニタシステム	多数の患者のバイタルサインを同時に検出、処理、表示するために用いる各種装置からなるシステムをいう。有害な状態が検知記録された場合に視覚又は音による信号・アラームを発するよう設計されており、これによって医療従事者に高度なモニタリングシステムを提供する。多数のモニタ又は他の機器から患者の信号(ベッドサイド、外来)を収集することと、これらの機器を遠隔で操作するための情報をやりとりする。	Ⅱ	集中生体情報モニタ及び関連機器	Ⅱ	特定		

受信する情報 タイミング 形式 相手システム
 入力する情報 タイミング 形式 (自システム)
 発生する情報 タイミング 形式 (自システム)
 出力する情報 タイミング 形式 相手システム

テーマ: 病棟看護業務の効率化、関連システム連携の標準化模索

MEDIS-DC看護実践用語標準マスター普及促進

- 1) MEDIS-DC看護実践用語標準マスター普及推進作業班参加
(継続参加5年目、2名: 藤咲専門委員長、木戸委員参加)
 - ① 関連2学会(日本看護管理学会、JAMI看護学術集会)発表
 - ② 同作業班実施の利活用セミナーへの協力
- 2) 病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索
 - ① 仮称: 看護情報WGの立ち上げ(ベンダ10社14名)
 - ② 看護オーダー、看護記録等の移行や連携のための検討を
12月より開始

対外発表時共通



第23回日本看護管理学会学術集会

テーマ 看護管理の流儀～最前線への道程～ 会期 2019年8月23日(金)・24日(土) 会場 朱鷺メッセ

指定
「地域力向上」

この指定インフォメーション・エクスチェンジ
そこで講演スライドの一部を公開する

地域包括ケアの中で、看護管理者が医療・介護・福祉・E
などで看護が利用される方にさらに貢献できることがある
でしょうか。すなわち「看護師多機能化」※の視点から、2021
年、求められています。
そこで、病院の看護管理者も、在宅医療・介護の現場に
も、ともに「地域に根ざした看護」を実現するために、少
少を投じてみてはどうでしょうか。そのためには、地域を
見える化に取り組む必要があります。
このインフォメーション・エクスチェンジでは、こうした地
域の「見える化」に欠かせない地域看護情報の標準化と通
共有し、より有効な蓄積と活用について参加者とともに取
組むことを目指しています。

日時:
2019年8月24日(土) 9:40～11:40

場所:
第3会場(朱鷺メッセ 2F メインホールA、450名収容)

演者:
■急性期病院における専門性の高い看護師による地域
藤井 美代子(東京都保健医療公社東部地域病院)
■地域包括ケアの深化に貢献する看護
～看護小規模多機能型居宅介護サービス事業～
沼崎 美津子(在宅看護センター結の学校)
■LONG TERM CARE の見える化
五十嵐 歩(東京大学大学院医学系研究科)
■連携と情報利活用に向けた提案～共通語の採用
木戸須美子(保健医療福祉情報システム工業会)
■地域看護の見える化と連携を推進する施策とは
大竹 尊典(厚生労働省)

座長:
■冒頭説明(インフォメーション・エクスチェンジの目的と構成)
瀬戸 僚馬(東京医療保健大学 医療保健学部)

演者:

■急性期病院における専門性の高い看護師による地域
藤井 美代子(東京都保健医療公社東部地域病院)
■地域包括ケアの深化に貢献する看護
～看護小規模多機能型居宅介護サービス事業～
沼崎 美津子(在宅看護センター結の学校)
■LONG TERM CARE の見える化
五十嵐 歩(東京大学大学院医学系研究科)
■連携と情報利活用に向けた提案～共通語の採用
木戸須美子(保健医療福祉情報システム工業会)
■地域看護の見える化と連携を推進する施策とは
大竹 尊典(厚生労働省)

座長:
■冒頭説明(インフォメーション・エクスチェンジの目的と構成)
瀬戸 僚馬(東京医療保健大学 医療保健学部)

<講演スライドの一部公開します！>
演者からご提供いただいた講演スライド(一部)を公開しています。公開さ
れているスライドについては、演題をクリックすると、ダウンロードできま
す。

私たちがからの提案 にも

■それぞれの国の言語で情報を伝える

- 自国の概念で情報を作成
- 多くの言語と自国の言語の変換が必要

システム共通語

- 共通の概念で情報を作成
- 共通語と自国の言葉が変換できればOK

© JAHIS 2019

JAHIS 25
SINCE 1994

共通語の採用方法

Type.A : マスター変更

Type.B : 変換マスター (対応表)

タイプ	Type.A : マスター変更 方式	Type.B : 変換マスター(変換表) 方式
方式	- 看護実践用語標準マスターをシステムのマスターとして採用する - 変換プログラムは文法変換のみ	- 看護実践用語標準マスターを変換プログラムの対応表として採用する - 変換プログラムで単語と文法を変換する

M : 看護実践用語標準マスター、J : 看護データ交換規約(仮)
一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

17

JAHIS 25
SINCE 1994

マスターの紐づけ作業

データの抽出ルールが必要

患者基本情報

生年月日

性別

アレルギー

感染症

患者プロフィール

患者	氏名	年号	年	月	日	性別	アレルギー	感染症
...	...	...	...	...	...	...	...	...

ADL等の状況	食事	口腔ケア	清潔	整容	排泄	移動	起居動作
食事	食事制限の有無 食事制限の内容 食形態工夫の有無 食形態工夫の内容	自立度	自立度	自立度	自立度	自立度	自立度
口腔ケア	...	...	...	...	...	...	...
清潔	...	...	...	...	...	...	...
整容	...	...	...	...	...	...	...
排泄	...	...	...	...	...	...	...
移動	...	...	...	...	...	...	...
起居動作	...	...	...	...	...	...	...

看護にない

複数ある

どこにもない

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

6

施設ごとに検討すべきこと

- データの無い項目の扱い ← MEDIS標準マスターのサイトを参照ください
 - データなし = 異常なし or データなし = 未確認
 - 異常が無ければ、記録されない
 - 観察が必要なければ、記録されない
- データ元
 - 観察、行為、オーダ、etc. 優先順位と複合条件
- 変化するデータの扱い
 - 項目によって判断期間が異なる
 - 情報を作るタイミング、情報を利用するタイミング

© JAHIS 2019

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

8

JAHIS データ移行と情報共有の原則

■ 元システム

観察日時	項目	結果
...	...	...
2019/04/08 07:00	体重	67.7
2019/04/08 10:00	体温	36.6
2019/04/08 10:00	呼吸数	15
2019/04/08 10:00	脈拍数	70
2019/04/08 10:00	収縮期血圧	110
2019/04/08 10:00	拡張期血圧	75
2019/04/08 10:00	胆管ドレーン排液性状	胆汁様
2019/04/08 10:00	胆管ドレーン排液色調	淡黄色
2019/04/08 16:00	体温	36.5
2019/04/08 16:00	呼吸数	17
2019/04/08 16:00	脈拍数	65
2019/04/08 16:00	収縮期血圧	120
2019/04/08 16:00	拡張期血圧	77
2019/04/08 16:00	胆管ドレーン排液性状	胆汁様
2019/04/08 16:00	胆管ドレーン排液色調	淡黄色
...	...	...

情報担保

データ移行

■ 先システム

観察日時	項目	結果
...	...	...
2019/04/08 07:00	体重	67.7
2019/04/08 10:00	体温	36.6
2019/04/08 10:00	呼吸数	15
2019/04/08 10:00	脈拍数	70
2019/04/08 10:00	血圧(H)	110
2019/04/08 10:00	血圧(L)	75
2019/04/08 10:00	胆管ドレーン排液性状	胆汁様
2019/04/08 10:00	胆管ドレーン排液色調	淡黄色
2019/04/08 16:00	体温	36.5
2019/04/08 16:00	呼吸数	17
2019/04/08 16:00	脈拍数	65
2019/04/08 16:00	血圧(H)	120
2019/04/08 16:00	血圧(L)	77
2019/04/08 16:00	胆管ドレーン排液性状	胆汁様
2019/04/08 16:00	胆管ドレーン排液色調	淡黄色
...	...	...

■ 提供元

情報担保/情報解釈・加工

確認日時	確認項目	患者状態
2019/04/08 07:00	体重	67.7
2019/04/09 09:00	バイタルサイン	安定
2019/04/09 09:00	医療処置	胆管ドレーン
...	...	...

情報共有

■ 提供先

確認日時	確認項目	患者状態
2019/04/08 07:00	体重	67.7
2019/04/09 09:00	バイタルサイン	安定
2019/04/09 09:00	医療処置	胆管ドレーン
...	...	...

© JAHIS 2019

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

3

(仮称)看護情報WG

JAHIS データセット・データ交換規約の開発 ～要件～

- ・ 目的: 他システムとのデータ授受
 - ベンダー間のデータ移行
 - 施設間・システム間の情報共有
 - NDBなどの統合データベース構築
- ・ 要件
 - マシンリーダブル
 - 臨床的エビデンスを確保する
 - 現行システムへの影響を最小限とする
- ・ 範囲
 - 指示情報(介入・ケア計画)
 - ワークシート情報(介入・ケア予定)
 - 結果情報(温度板・熱型表・経過表)

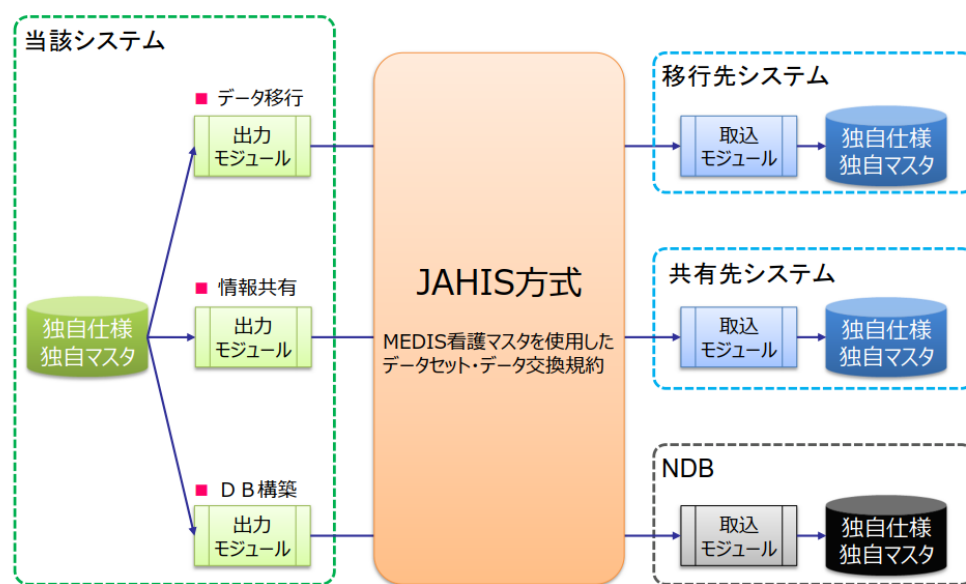
© JAHIS 2019

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

4

(仮称)看護情報WG

JAHIS データセット・データ交換規約の開発 ～方式～



© JAHIS 2019

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

5

「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改版に向けた情報収集と方針策定

- ①GS1ヘルスケアジャパン協議会開催のオープンセミナーに参加し
バーコードなど医療関連におけるデータ処理自動化における現場
ケーススタディの情報収集。
- ②GS1ヘルスケアジャパン協議会に登録しているJAHIS会員より
周知公開されている資料提示を受け調査研究。
- ③自動認識総合展など関係展示会を視察し他業界におけるデータ
処理自動化における事例情報収集。

国立国際医療センターを訪問し、当院で経産省研究事業として行われた医療材料マスタ登録運用や、そのマスタを活用した電子カルテの医療材料の実施登録の変革についてヒアリングを実施した。ヒアリング内容から見えてきた課題やメリットを整理する作業を実施。

自動認識総合展の様子



ソースマーキング用に使用するRFID印刷のデモの様子



流れる商品に貼付されたRFIDを認識し商品特定するのデモの様子



形状を自動認識し商品特定するのデモの様子

国立国際医療研究センターの前景



国立国際医療研究センター様の医療情報管理部門が、医療材料の管理方法について経済産業省からの受託研究を行った。その成果と物流システム専門委員会で制定した「HIS向け医療材料マスターの提供ガイド」の利用促進や改編に向け、医療現場における実務的なマスター管理課題を探る為に意見交換などを実施した。

新しいWGとして2018年2月に設置され活動を開始した。2019年4月より、正式フォーマットでのVISIT連携が開始している。介護システム委員会と連携し活動を行った。

リハビリ計画書データの流れ(①⇒②⇒③)

- ①医療機関(連携データ伝送)
- ②介護・リハビリ事業所(データ登録)
- ③VISIT(通所・訪問リハビリテーション
質の評価データ収集事業)

※VISITについては「スライド7」参照

WG活動内容

VISITセンターは2017年4月より運用を開始

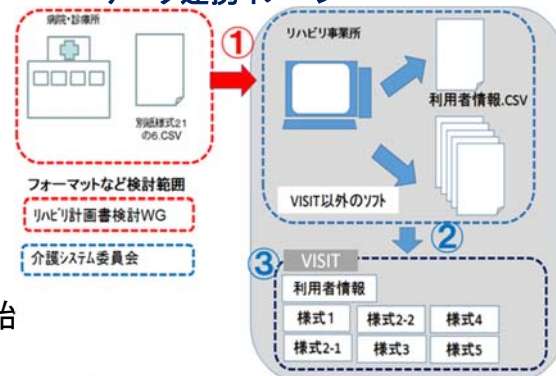
2018年度WG活動

データ連携の基になるCSVデータのフォーマットについて、介護システム委員会と連携して検討およびテストを行った。

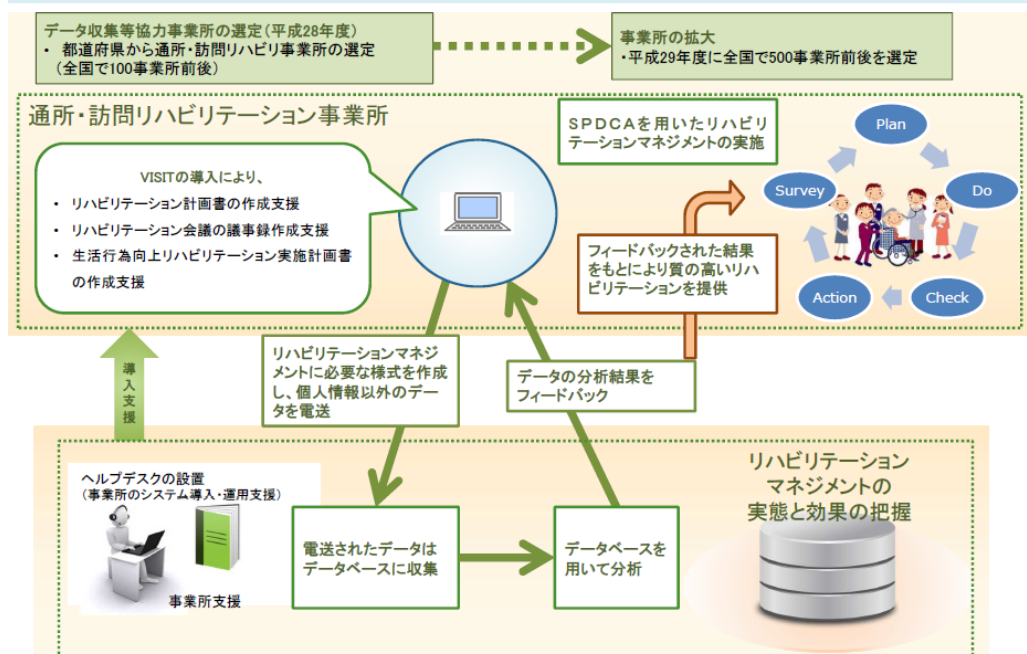
2019年度WG活動

正式フォーマットの運用施行開始。運用上の課題に対する疑義照会などを行いより良いシステムへの対応を推進。

データ連携イメージ



通所・訪問リハビリテーションの質の評価データ収集等事業（VISIT）



厚生労働省ホームページ（通所リハビリテーションの報酬・基準について <https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000.../0000184011.pdf>）より

(1) 部門システムに係る課題の洗い出しと解決、標準化・患者安全施策活動の推進

- ①部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ②教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動
- ③患者安全に関する施策活動の推進

(2) 病棟看護業務の効率化、関連システム連携の標準化模索

- ①MEDIS-DC看護実践用語標準マスタ普及促進
- ②病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索

(3) 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ①「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及推進
- ②「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改版に向けた情報収集と方針策定
- ③医療用資材（医薬品・医療材料など）の院内物流のICT適用モデルの考察
- ④院内物流の実態調査・現場情報のヒヤリングなどを通じ新たな標準化課題の模索

(4) リハビリ業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ①リハビリ計画書連携の標準化推進
- ②リハビリシステム業務の標準化推進



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました

